



＜鍋合戦キャラクター＞
にこむっち

2012 プレスリリース

ニッポン最大級の鍋料理コンテスト

第8回
ニッポン全国
鍋合戦

前年度、悲願の優勝を遂げた「武州煮ぼうとう研究会」の連覇での殿堂入りなるか…
鍋の本場山形県勢は、3チームが「庄内風いも煮」「山形牛すじ煮」「中山いも煮」で参戦
宮城県からも復興をめざし、「仙台ホルモンもつ鍋」「あんこう肝鍋」の2チームが参戦
茨城県からは、「塩ホルモン名鍋」「八郷名物しし鍋」で参戦
石川県七尾市名物の「能登鍋」より、厳選の「能登牡蠣白味噌鍋」で初参戦
迎え撃つ「地元和光鍋軍団」や「初参戦の面々」も、虎視眈々と優勝を狙う大激戦！

2012. 1. 29 (日) 10:00

いざ 出陣！

主催：和光市商工会

第8回ニッポン全国鍋合戦

<開催概要／和光市商工会発>

<イベント名> 第8回ニッポン全国鍋合戦

◆決戦日：平成24年1月29日（日）10:00～15:00(売切次第終了)
*毎年1月最終日曜日開催

◆決戦会場：和光市役所内「市民広場」特設会場
和光市広沢1-5

<主催> 和光市商工会（会長：^{サイトウ カズヤス}齋藤 和康）

◆所在地：〒351-0114 埼玉県和光市本町3-1-2-109
TEL 048-464-3552/FAX 048-464-3554/E-mail info@wako-sci.or.jp

◆プレス対応：事務局長 本橋淳男（他事業担当：清水・田村・藤井）

<共催> 和光市（市長：松本 武洋）

<後援> 農林水産省
FOOD ACTION NIPPON
埼玉県
全国商工会連合会
埼玉県商工会連合会
社団法人埼玉県物産観光協会
あさか野農業協同組合
NHKさいたま放送局
テレ玉
(株)ジェイコム東京
読売新聞さいたま支局
朝日新聞さいたま総局
毎日新聞埼玉西支局
埼玉新聞社
東京ガス(株)北部支店

<協賛> 和光市商工会会員企業各社
*特別協賛：東洋水産(株)

<協力> 東武鉄道(株)東武東武東上線（ポスター掲載協力）
埼玉県立和光高等学校（運営ボランティア）
ボーイスカウト和光第一団（運営ボランティア）
朝霞地区交通安全協会和光支部（交通警備協力）
小田建設(株)（割り箸処理：堆肥化）

<イベント内容>

【鍋料理コンテスト】

全国各地の名物鍋料理、創作鍋料理、市内在住の地方出身者による郷土鍋など、約40チームによる鍋バトル。家庭や店では味わえない「本日限定」の鍋料理をご堪能下さい。出店鍋料理を食べていただいた方へ、抽選券付き投票券を進呈し、その投票結果により優勝（鍋奉行）が決定。

優勝：埼玉県知事賞（第8代鍋奉行認定）
準優勝：全国商工会連合会長賞
第3位：埼玉県商工会連合会長賞
優秀賞：和光市商工会長賞（3点）
特別賞：和光市長賞

<歴代鍋奉行>

回	開催年	優勝鍋名	優勝団体名
第1回	2005年	牛肉のワイン煮鍋	食文化研究会(埼玉県和光市)
第2回	2006年	こしがや鴨ネギ鍋	越谷市商工会(埼玉県越谷市)
第3回	2007年	本場黒豚肉入りだんご汁	和光鹿児島会(埼玉県和光市)
第4回	2008年	こしがや鴨ネギ鍋	越谷市商工会(埼玉県越谷市)
第5回	2009年	本場黒豚肉入りだんご汁	和光鹿児島会(埼玉県和光市)
第6回	2010年	龍馬が愛した土佐の味シャモ鍋	土佐南国ごめん軍鶏研究会 (高知県南国市)
第7回	2011年	煮ぼうとう	武州煮ぼうとう研究会(埼玉県深谷市)

*2回優勝した団体は「殿堂入り」となり、コンテスト対象から除外(名誉参戦)

殿堂入り：和光鹿児島会／越谷市商工会

【アンテナショップ】

28店舗によるアンテナショップが花を添えます。埼玉県の物産や市内外商工会会員店などによる物品販売など、鍋料理ともどもお楽しみ下さい！（おにぎり・おしるこ・コロッケ・酒類・飲料・クレープ・草餅・やきとり・野菜等）

【ステージイベント】

◆和光太鼓

北京オリンピックでの応援イベント出演など海外での実績多数、和光市が誇る地域伝統芸能。東京都湯島の大江戸助六太鼓の打法を継承する「和光太鼓」の迫力ある演舞をご堪能下さい！



◆ブラジルサンバレゲエチーム「RISO」

地元和光を中心に編成の打楽器チームによるリズム感溢れるサンバをお楽しみ下さい！

◆その他

参戦各チームによるPR合戦などもお楽しみ下さい…

【東日本大震災復旧支援イベント】

第8回ニッポン全国鍋合戦は、東日本大震災復旧支援イベントとして位置付け、出店各チームの売上の一部を「義援金」として被災地に届けます。

<鍋合戦誕生の経緯>

「鍋を囲む」「鍋をつつく」といった言葉の先には、身も心も暖まる笑顔のコミュニケーションの場面が浮かびます。

鍋という題材には、全国各地や世界各国の様々な文化が存在し、気候風土に育まれた豊かなエッセンスがふんだんに盛り込まれております。

地域ならではの食材で作る鍋料理は、まさに「ソウルフード」であり、地域ブランドでもあります。

和光市は、東京都（板橋区・練馬区）に隣接する人口約7万8千人のベッドタウンで、東武東上線、東京メトロ有楽町線・副都心線の始発駅として、人口増加の一途を辿っております。

そのような状況下、市外からの移転者が大半を占めるようになり、必然的にそれぞれの出身地の話題や自慢話が飛び交い始めました。

その中で、地域それぞれの「鍋料理」が話題になり、ケンカさながらの自慢大会となってしまいました。（郷土愛のバトル…）

そこで、「ならばお互いにどっちが旨いか対決しよう！」との話の先に「鍋合戦」が誕生したのです！

ベッドタウンならではのローカル自慢から端を発したイベントになりましたが、第1回開催での参加鍋数は16から始まり、回を重ねるごとに鍋自慢が増え、現在では40鍋の参戦による対決が繰り広げられています。また、全国各地からの参戦も増え、冬の風物詩として大盛況となっております。

和光市商工会では、さらに新しい鍋文化を発信できるまちづくりをめざし、新たな街の顔づくりに精力的に取り組んでまいります。

<和光流「鍋の定義」>

古今東西 地球の恵みを汁仕立て

煮立たせ 囲み 食すれば 心身ともに暖まり

和やかな笑顔が**光**る 煮込み料理である



*この定義に合致し、さらには、家庭・職場・仲間同士、そして地域を「ほっと」にできるものであれば、鍋合戦に参戦できます。（団体に限る）

<鍋=コミュニケーション=食育=防災訓練=地産地消>

最小単位のコミュニティーを家庭とするならば、昨今の家庭でのコミュニケーションは円滑に図れていますか？

家族全員で食卓を囲み、一日の出来事などを語り合う機会は豊富ですか？

両親の帰宅時間のずれ、子どもは塾通いなどで、家族の食事時間はバラバラではありませんか？ 個食や孤食などという言葉も出てくるなど、生活習慣は確実に変化しています。

慌ただしい現代に生活するうえで何か失いつつあるのでは…と考え、和光市商工会では、鍋の持つエネルギーを活用し提言してまいります。

「月に一回は鍋を囲み、家族全員で楽しんで下さい！」（毎月第4日曜は家庭の日）

和光市商工会では、歴代参戦鍋料理のレシピをいつでも公開しております。たまには、優勝鍋に挑戦し「わが家の鍋奉行」の実力を家庭で発揮して下さい！

さらには、地域コミュニティーの中で、ご近所つき合いはできていますか？

子育てや介護など、気軽に相談できる方がお近くにいらっしゃいますか？

地域コミュニティーの形成なくして「まちづくり」はできません。

災害時の「炊き出し訓練」を兼ねて、鍋合戦には多くの地域コミュニティーからの参戦がありますので、ぜひお誘い合わせのうえ、ご参加下さい。

和光市で収穫される農産物が見直され、月に一度は市役所市民広場でも販売されるようになりました。地場産農産物をご利用し、オリジナル鍋料理に挑戦して下さい。

参戦鍋数・会場が拡大し、バージョンアップ!

<「ニッポン全国鍋合戦」へ> *農林水産省の後援決定!

2005年「彩の国鍋合戦」として誕生した本イベントも、回を重ね第8回目を迎えることになりました。

当初は市内中心の16チームにより始まり、今では全国各地からの挑戦が相次ぎ、来場者も4万人を超える数となり、会場は大盛況。

「彩の国鍋合戦」と聞くと「鍋の埼玉大会?」と勘違いされてしまうこともあり、全国商工会連合会主催の「ニッポン全国物産展」とコラボし「ニッポン全国鍋合戦」と改称することになりました。これにより、名実共に「日本一の鍋合戦」を目標に、さらには、「日本一の鍋文化発信のまち」をめざしてまいりたいと考えております。

***本年度も、全国各地から続々と参戦表明。昨年同様44チームが参戦!**

<地球にやさしいイベント>

本大会で使用するカップは、再生可能なエコカップです。来場者の方々にご協力を頂き、ゴミステーションにて食べ終わったカップのシールをはがし、ゴミと資源に分別したうえで再資源化工場へ届けます。(アンテナショップでの販売も同様)

また、使用済みの割り箸も和光市商工会会員事業所にてチップ化し堆肥化。さらに食べ残しのゴミも生ゴミ生成機(バイオランナー)にて堆肥化します。

***従前の1/50に削減!(ゴミ減量大作戦)**



エコカップ



フィルムをはがす



はがしたカップを再資源化

<来場者により鍋奉行が決定>

本大会は、来場者(鍋料理を購入した方)による投票で順位が決定します。

食べ終わったカップを回収する「ゴミステーション」で、くじ付き投票券を受け取り、お好みの鍋料理に投票し順位が決定します。(特別賞を除く)

<鍋料理店ガイドマップ>

市内で鍋料理が食べられるお店を紹介する「nabeなび」発行。(28店舗掲載)
毎年11月第3木曜日に「鍋解禁日イベント」開催。

<2011鍋解禁日イベント>

***世間ではポジョレーヌーボー解禁日、和光では「鍋解禁日!」**

■開催日時:平成23年11月17日(木)17:45~

■開催会場:和光市駅南口広場

■開催内容:がんばれニッポン!東日本大震災被災地の復旧を祈念

- (1)「復興鍋」の振る舞い(茨城県産野菜使用:県証明書付)*チャリティ制
- (2)前年度鍋奉行による鍋の安全祈願儀式(武州煮ぼうとう研究会)
- (3)鍋解禁信号弾打ち上げ(市内協賛28店一斉鍋料理解禁:各店解禁サービス)
- (4)負けるな風評被害!産直野菜等販売(茨城県 他)
- (5)市内鍋ガイド「nabeなび」無料配布

***解禁日から鍋合戦まで**

この冬は… 和光が熱い!

第8回 ニッポン全国鍋合戦 参加鍋一覧

(順不同)

No.	エントリー鍋名	チーム名
1	武州煮ぼうとう 昨年優勝	武州煮ぼうとう研究会(深谷市)
2	能登牡蠣白味噌鍋 初	鍋プロ部(石川県七尾市)
3	すうちゃん水餃子鍋	裾野市商工会すそのギョーザ倶楽部(静岡県裾野市)
4	食べる奈良 飛鳥鍋	鍋++(和光市)
5	地鶏と京野菜の琥珀鍋	グリーンバル:みどりなかも亭(さいたま市)
6	黒豚スペアリブ鍋	和光ライオンズクラブ(和光市)
7	たっぷりきのご鍋	和光体操クラブ(和光市)
8	黄金豚の洋風豚汁	和光市食文化研究会(和光市)
9	牛すね入りたっぷり野菜のポトフ	さいたま農村女性アドバイザー土っ土の会(和光市)
10	モツ煮込(ミソ味)	風柳軒(和光市)
11	高麗鍋	はし本(日高市)
12	そばすいとんde山賊鍋	荒川商工会女性部(秩父市)
13	カラーゲンたっぷり塩ホルモン鍋 初	うまいもん研究会(茨城県大洗町)
14	八郷名物しし鍋	石岡市八郷商工会(茨城県石岡市)
15	東北にぎわい“絆鍋” 初	鶴金社中(東京都練馬区)
16	お肉屋さんが作るギョーザ鍋	チームよしざわ(栃木県真岡市)
17	あったか野菜鍋	和光市役所【食】員チーム(和光市)
18	魚介と野菜の『イタリアン ジェナーベーゼ』 初	ベジタブル酒場MITOSHIRO SEVEN(和光市)
19	やいませば鍋	やいま(東京都千代田区)
20	寿司屋の海鮮鍋	太郎寿司(和光市)
21	山形県庄内風「いも煮」	山形県出羽商工会青年部(山形県鶴岡市)
22	山形牛すじ煮 初	尾花沢鍋愛好会(山形県尾花沢市)
23	山形中山いも煮 初	山形中山愛好会(山形県中山町)
24	酒蔵に伝わる伝統のかす汁	福島県白河市ひがし商工会(福島県白河市)
25	仙台ホルモン もつ鍋 初	エムケーフーズ(宮城県大衡村)
26	海のフォアグラあんこう肝鍋	株式会社マルショウ食品(宮城県加美町)
27	源右衛門鍋(炙りチャーシューバージョン) 初	街づくり市民の会:八千代商工会議所(千葉県八千代市)
28	トマトのマドンナ(ヘルシー仕立て)	西武学園ミラクル元気隊(所沢市)
29	The締 ～この一杯～	朝霞市商工会青年部(朝霞市)
30	テキ☆鍋	新座市商工会青年部広報委員会(新座市)
31	地鶏鍋	新座市商工会 婚活委員会(新座市)
32	東松山“爆弾”鍋	東松山市商工会青年部OB会(東松山市)
33	酸辣湯鍋 初	古丹製麺(和光市)
34	イベリコ豚と鶏肉の秘伝味噌鍋 初	チームOTTO & チキン野郎(和光市)
35	オマール海老ダシの和光野菜と海鮮鍋 初	縁(和光市)
36	豪快五島灘産幻魚アラとアゴ出汁スープ鍋 初	武蔵浦和MARE R+9(さいたま市)
37	モッキム鍋	東洋・ザ・キック(東京都北区)
38	萌酒鍋 初	有限会社須藤酒店(朝霞市)
39	とりだんごネギ塩なべ!	和新會(和光市)
40	海軍カレー鍋(チキン爆弾入り)	白子睦会(和光市)
41	給食ソフト麺野菜ミソ鍋	新倉小オヤジの会(和光市)
42	地元おふくろ鍋	和光市コミュニティ協議会市民ふれあい委員会(和光市)
43	あったか渡和の鍋 初	渡和の会(和光市)
*	鹿児島県産黒豚肉入りだんご汁 殿堂入り	和光鹿児島会の会(和光市)